

バチッときたら危険！ 静電気に注意

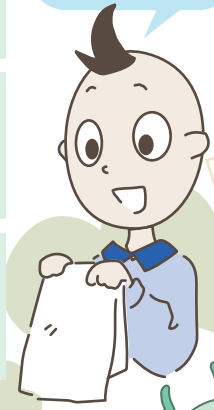
肌寒く空気がカラッと乾燥する季節になりましたね。今の時期気になるのが「バチッ」と痛い静電気です。小さな火花ですが、シンナーなど危険物も扱う塗装工場では特に悩ましいのではないのでしょうか。火災の危険はもちろん、電子機器の故障などにつながることもあるかもしれません。簡単な事柄でも対策することでかなり改善します！この機会にぜひ身の回りを確認してみてください。また、クロスや静電気除去ガンなど静電気対策グッズも多数用意しています。興味のある方は担当営業へお問い合わせください。

アースをとる
当たり前ですが大事なことです。何かの拍子に外れていることも…？大掃除のついでに確認してみてください

加湿する
加湿器などを用意しなくても、濡れタオルを干すだけでかなり改善します！一番お手軽な方法です

作業着・手袋・安全靴
普段から何気なく着用しているアイテムですが、素材によっては静電気を起こす原因になります。ぜひ一度調べてみてはいかがでしょうか

濡れタオルは三王事務所でも干しています！



塗板保管期間変更 & ロットNo.注文ご協力のお願い

いつも三王の溶剤調色をご愛顧いただきありがとうございます！「前回色合わせ」でのご注文で使用している弊社保管の塗板についてお知らせです。お客様ごとに異なっていた塗板の保管期間を見直し、一律1年間の保管にしました。いままで2、3年前やはたまたもっと前の塗板でも場合によっては残っていたのがなくなります。1年以上前の色合わせの場合はお客様保有の塗板をご貸与いただきますようご協力よろしくお願いいたします。また保管方法の見直しに伴い控え板の用紙の印刷も若干変わりました（気づいていましたか？）ご注文の際Sから始まるロットナンバーを合わせてお伝えいただけるととっても助かります。今後もお客様のため邁進してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。



メタルトップ CW 製造廃止のお知らせ

ご使用いただいているお客様へは担当営業よりお伝えしていることと思いますが、株式会社トウベ社製品「メタルトップ CW」が本年1月で廃止になります。それに伴い弊社での調色受注も原色の在庫がなくなり次第終了いたします。長きにわたってご使用いただいているお客様へはご不便をおかけしますが、下記代替品への変更をお願いいたします。詳しくは担当営業へご確認ください。

株式会社トウベ TOHPE CORPORATION
メタルウレタン CW 一液焼付ウレタン
メタルウレタン CW-ST 一液焼付ウレタン低温（三王調色可）

大日本塗料株式会社 DNT
デュラクロン CW 焼付型アクリル樹脂

久保孝ペイント 株式会社 KUBOKO PAINT
ウレタンペイク 2000h 一液焼付ポリウレタン

編集後記 SANOH NEWS vol.20 をご覧いただきありがとうございます。編集長です。本号のテーマカラーは鶯色です。紅白から抜け出すべく、立春（2月）頃の色を先取りしてみました。冬号というより春号のような華やかさですが、気に入っています。さて、実は記事が全て揃ったのが21日、来週には仕事納めで年明け早々配るためすぐにも印刷をしなくてはという超ギリギリスケジュールに半泣きで仕上げをしております。間に合いますように…泣かしてくれんぼはどこかに鳥（鶯？）がいます。ぜひ探してみてください。

PAINT
COATING
EQUIPMENT

SANOH NEWS
Paint & Coating Information

冬

Vol.20

2024.01

旧年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます 辰

いつもお世話になっております。三王です。SANOH NEWS Vol.20 をご覧いただきありがとうございます。本号のテーマは「今年の三王の意気込み」です。たくさんの使える情報をお届けしますのでよろしくお願いいたします！

Vol.20
主な内容

セール品の紹介 …冬は秋のセール品を引き続きおすすめ
弊社より皆様へご挨拶 …代表・各部門からのご挨拶
塗装業界に貢献する活動 …三王が所属する外部団体を紹介



詳しくは
担当営業へ！

塗料・塗装資材の総合商社
小ロット溶剤調色 小ロット粉体製造
塗装機器・設備のコーディネーター
化学で人と自然の共生する明日へ
www.san-oh-web.co.jp
info@san-oh-web.co.jp



株式会社 三王
本社 〒110-0001 東京都台東区谷中2-6-29
TEL: 03-5842-1921 FAX: 03-5842-1920
埼玉支店 〒340-0013 埼玉県草加市松江6-4-34
TEL: 048-936-4981 FAX: 048-931-8570
粉体事業所 〒340-0004 埼玉県草加市弁天4-17-18
TEL: 048-931-2001 FAX: 048-931-2141
SN-2024-01-020



お慶び申し上げます 甲辰年

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は格別のお引き立てを賜り誠にありがとうございます。
昨年はロシアのウクライナ侵攻が続くイスラエル・パレスチナの戦争が始まり、中国とその国境を接している日本を含む国々とのいざこざなどもあり落ち着いた1年となりました。コロナウィルスは弱毒化したものの、インフルエンザとともに流行しているようです。塗料の原料の高騰は一旦収まっていますが、半導体の一部原料が不足して資源不足の不安は残っています。世界情勢の不穏な動きもあり、原料供給の不安は払しょくしきれません。できる限り安定的に提供できるよう努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

さて、今年はどうなる年になるのでしょうか？
2024年は干支で「甲辰（きのえたつ）」にあたります。
「甲辰」は、「春の日差しが、あまねく成長を助く年」といわれています。「甲（きのえ）」は「木の兄」を意味し、「命の始まり、ものごとの始まり」を表しています。たっぷりと養分を蓄えた、固い種子が芽吹くとき。「辰」は十二支の中では唯一の架空の生き物、龍（竜）を意味します。水や海の神として祀られてきた龍は、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものであり、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。ここから、甲辰は「成功という芽が急成長し姿を整え、変化を誘っていく」といった縁起のよさを表しているといえます。「辰年」で見えていくと、辰年は政変の年とも言われ、政治の大きな変化が起きることが多い年といわれています。今までに3回も総選挙が行われ、ロッキード事件やリクルート事件といった汚職事件も辰年に発覚しています。国家プロジェクトが始まること多いのも辰年の特徴です。大きな出来事が多く、動乱の年とも言えます。大きな変革の流れにある中ですが、当社の取組みは昨年と変わらず2つのテーマを中心としています。

1つは「カーボンニュートラルの実現」です。工業塗装業のCo2排出量算定については、当社が所属している国際工業塗装高度化推進会議（IPCO）が日本塗料工業会、日本塗装機械工業会とコーティング・コンソーシアム（略称：CoCo）というプロジェクトを組み、業界を挙げての最初の取組みとして「CO₂排出量に関わる意識調査アンケート」を実施しました。お客さまにはアンケート回答にご協力いただきありがとうございました。アンケートではCo2排出量削減に対する意識はまだ低いという結果でしたが、世界各地で発生する気候変動を目の当たりにするとCO₂排出量削減は喫緊の課題であると言わざるを得ません。水素ガスを用いたバーナーやバイオマス樹脂を原料とした塗料などまだ実用化には遠いようですが、いち早く情報をお知らせしていきたいと思っております。当社では現在リノベーション中の埼玉支店事務所棟のLED化を手始めに各所のLED化を進める予定です。

もう1つのデジタル化については、昨年より取り組んでいる新販売管理システムの運用開始を目前に控えています。また、調色工場のIoT化も進めていきます。
三王は今年もこのSANOH NEWSとともにX(旧Twitter)、Facebookを中心とした情報発信をしていきます。また、皆様からの情報やご意見も真摯に取り組んでいきますので、ご遠慮なくお話しいただければと思います。
本年も社員一同精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

代表取締役 高橋 大



営業

新年あけましておめでとうございます。
営業部として本年も新規商材や各種情報提供等を通じて、ニーズにお応えできるようより一層励む所存です。
辰年（昇龍）でもあり、皆様が高く舞い上がる年となることを祈念いたします。どうぞ本年もご最員のほどよろしくお願いいたします。

総務

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は、大変お世話になりました。誠にありがとうございました。
本年もより一層皆様のお役に立てるよう、サービス向上に全力で努めてまいります。また業務の見直しにより作業効率を上げ、スピード感あふれる総務部を目指していきます。今後とも変わらぬご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

粉体製造

新年あけましておめでとうございます。
私達は、一人ひとりが製造目標を掲げることで、日々成長しているを感じています。
個々人がしっかりと成長することで、粉体製造全体の力となり、今まで以上にお客様に貢献出来ることでしょうか。
今後とも製造メンバー一同、よろしくおねがいします。

業務

新年あけましておめでとうございます。
昨年末に始まった埼玉支店のリフォームが着々と進んでいます。不要な物を捨てつつも古き知恵を活かし、新しく便利な品や情報をご提供できるよう模索しております。
業務改善を図りつつ、お客様・仕入先様への感謝を忘れず頑張っておりますので、本年も変わらぬご厚誼のほどよろしくお願いいたします。

溶剤調色

新年あけましておめでとうございます。
いつも大変お世話になっております。昨年コロナが5類に移行し、仕事量も通常通りになりつつあります。これもお客様があつてのことなので、大変感謝しています。
今年の春に新卒メンバーも増え、更にパワーアップが見込めます。今年も一層喜ばれる商品をいち早く提供できるよう頑張っていきます。本年もよろしくお願いいたします。



三王が塗装業界に貢献する活動

三王は、多くの塗装業界団体とのつながりを大切にしながら、塗料、塗装機器、塗装設備のエンドユーザーにわかりやすく情報を提供し、橋渡しの存在となれる様、今後も塗装業界の発展に尽力していきます！
今回は数ある団体の中から3つピックアップしてご紹介いたします。各団体についてご興味のある方はお気軽にご連絡ください。

- ・アルミニウム合金材料工場塗装工業会（ABA）
- ・九州工業塗装協同組合
- ・一般社団法人国際工業塗装高度化推進会議（IPCO）
- ・東京工業塗装協同組合
- ・東京塗料商業協同組合
- ・日本工業塗装協同組合連合会
- ・一般社団法人日本塗装技術協会
- ・日本塗料商業組合
- ・日本パウダーコーティング協同組合（JAPCA）
- ・COATING CONSORTIUM（COCO）



IPCOは、工業塗装業界の横断化と異分野技術の融合を進め国際的な視野と広がりの中で工業塗装の高度化を推進しています。
現在、地球規模で問題化されている温暖化による気象変動に対して、工業塗装での省エネ、二酸化炭素排出量削減、VOC排出量削減は喫緊の課題です。
また、少子高齢化により労働人口が減っていく中、工場内の作業環境の改善、工場内の自動化・DX化も重要な課題であり、これらの課題に取り組む活動を展開しています。

同時に、工業塗装産業がいかにモノづくり産業全てに対し必要不可欠で大きな役割を担っている基盤技術であるかについて社会的認知度向上を目指し、塗装技術の有効性を積極的に社会に訴え、正しい認識を持っていただく行動をとっています。
これまでに、環境省よりVOC排出削減に対する貢献について表彰を受けています。また、国に対して工業塗装が我が国の基盤技術であると認められよう働きかけをしたのもIPCOです。当社は、IPCO発足当初より代表高橋が副理事長としてこれらの活動の全てに関わっており、定例の合同会議や展示会、カンファレンスなどの企画から携わっています。



↑IPCOカンファレンス
三王代表高橋も講演→



日本パウダーコーティング協同組合は、環境にやさしい粉体塗料の需要拡大に向けた啓蒙活動を継続して進めています。他の塗料・塗装団体との連携を強化し、「モノづくり補助金」他助成金・支援事業への協力・働きかけを行っています。
また、粉体塗装に関する情報提供を行い、粉体塗装の普及と拡大を目的として「粉体塗装研究会」の運営も行っています。その他、粉体塗装に関するセミナー、工場見学会の開催や「パウダーコーティング誌」の発行を通じて会員への情報共有・交流を図っています。当社代表高橋も理事として各種イベント運営やセミナー会場提供など積極的に協力しています。

COATING CONSORTIUM

2022年、「サステナブル社会に向けた塗料、塗装業界の先進的な取組み」を”塗料・塗装業界の認知向上”として、JPMA(日本塗料工業会)、IPCO、CEMA、塗料報知新聞社と業界団体をまたいだシームレスな「CoCo(コーティング・コンソーシアム)」の活動がスタート。当社代表高橋もTechnical Secretaryとしてメンバーに名を連ねており、昨年は「CO₂排出量に関わる意識調査アンケート報告書(CoCo)」のアンケートで実績をあげています。
アンケート結果レポート <https://www.e-toryo.co.jp/report/coco/>



↑JAPCA 工場見学